

令和元年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党	
事 業 名	市町村議員研修[3日間コース] 地方財政制度の基本と自治体財政	
事 業 区 分	研究研修	調査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

上田市議会において昨年実施された一般会計の決算特別委員会審査において一層慎重な審査を行うため議員の研鑽を図ることが必要であり、今回の研修に参加した。

2 実施概要

実施日時	主催	全国市町村研修所
令和元年8月19日～ 令和元年8月21日	会場	滋賀県大津市唐崎2丁目13-1
感想(まとめ)・市政に活かせること		
<p>研修内容</p> <p>1日目 講師：関西学院大学大学院 経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西 砂千夫 氏</p> <p>1、 地方財政制度の基本及び演算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方財政制度を学ぶ ・ 地方財政の果たす役割 <p>2日目 講師：公益財団法人アイヌ民族文化財団 専務理事・事務局長 今井 太志 氏 (前北海道総合政策部地域総政局地域づくり担当局長)</p> <p>1、自治体財政診断の考え方と手法</p> <p>他市との比較をする指標(将来負担比率・基金額比率)の算出演算(過去5か年分)</p> <p>講師：関西学院大学大学院 経済学研究科・人間福祉学部 教授 小西 砂千夫 氏</p> <p>2、地方財政のよくある質問</p> <p>3日目 講師：兵庫県川西市総合政策部長 松木 茂弘 氏</p> <p>1、財政健全化における川西市の取り組み</p> <p>(1)歳出のコントロール 特に人件費と公債費が重要</p> <p>組織のマネジメント機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦弾力的な組織・職員手数管理⇒現場第一主義の徹底と効率的な人材配置 ◦採用方法の多様化と人材育成⇒社会人採用、人材育成(同じコストで質的充実を図る) 		

財政計画に基づく公債費のコントロール

- 起債発行額のコントロール
- 償還額の平準化・・・償還ピークを見極めた財政運営
財政のブレーキとアクセルの踏み方
- 財政健全化⇔まちづくり どのように両立させるかが財政運営の勘所になる

(2)財政運営のウィークポイントにメスを入れる

- 土地開発公社が抱える債務の解消
- 第三セクターが抱える債務の解消と将来リスクの軽減
- 市立病院の経営改革

(3)PFI 事業の導入

導入事例

- 中央北地区整備事業
- 小学校施設耐震化・大規模改造事業
- 市民体育館等整備・運営事業
- 低炭素型複合施設整備事業
- 学校空調設備整備事業
- PF I における財政負担の平準化
- PF I の現状と自治体の抱える課題(その1)(その2)

(4)財源対策事例

- 事例 中心市街地の未利用公有地の有効活用について

まとめ

国の予算と地方財政計画との関係や地方財政計画の分析やその役割、自治体財政診断の手法など基礎的なことを学んだ。

人口減少社会における医療費・生活保護費等の増加、インフラの老朽化への対応等、財政の課題が顕在化している。

上田市においては経常収支比率が高く、財政構造に弾力性が少ない傾向があるとともに、基金額比率、将来負担比率の相関から、財政運営の硬直化が見て取れた。

経常的経費の増収は見込めないため、様々な手法を導入し、指定管理制度の見直し、公有財産の利活用、公共施設の削減等を行い、経常的経費の削減を図るための必要があると感じた。

財政運営の目的は堅実路線を維持することではなく、さらなる市民サービスの充実を図ることであり、新旧の事業について目標と成果の見える化を図ることが必要である。

市議会として決算特別委員会の審査や予算審査の充実を図りながら、議論が市政に反映される様、課題を明確にし、課題解決のための手法について提案できるよう議論を深めていかなければならないと感じ、議員の更なる研鑽が必要だと考える。

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと